

僕の彼女は狂犬です。



狂犬注意

危険ですので他氏以外は近づかないでください。

転校生の
「青木ゆかり」さんだ
何か、一言あいさつでも…

…無いんだな
じゃ席ついて
授業始めるぞ

…

男ばかりのうちのクラスに
女子の転校生が…。





早速彼女に話しかけてる奴がちらほらと・・・。
だけどガン無視されて全く相手にされてない。

大体の奴はノリが悪いと早々に諦めていたが
何人かは粘り強く話しかけていた。

しかし、次の日には彼女に話しかける奴はいなくなった。

僕もクラスの野郎たちのノリに合わせないのでクラスでは
浮いているのだが、彼女もそうになっていた。

ねえ、一緒に
お昼食べない？

ある日の昼休みの事……。

え、いっせよ……

じゃ、行く

齊木さんに昼飯を一緒に
食べようと誘われた。
別に断る理由もないので
一緒に教室を出たが
クラスの連中の視線がすごかった。



はあ……いい天気だし
静かでもいいなあ……ここ

屋上入っちゃダメ
だけどね……しっかし
よく鍵開けたね

まあね、あつ、この事
チクつたりしないですよ？

しないよ……僕も
屋上出てみたかったし

それでき、なんで僕
誘ってくれたの？
クラスの連中
びっくりしてたよ
いろいろと……

うちのクラス
チャライやつばかりで
騒がしくて落ち着かないしね

あんなの相手にしてないし
まともなの川田だけだし
お屋一人だと寂しいし……
あ、でもちよっと注目させ
ちゃったし迷惑だった？

格好のせいで変な仲間
意識持たれるし……
ああいう男大嫌いなものよね
なんであんなクラスに
入れられたんだろう……

そんなことないよ
誘ってくれて
ありがとう

ホント……クラス割
決めた人に
聞いてみたいよ

ね……

そんなこんなで斉木さんと
話をしながら弁当を食べた。

川田って下の名前
なんていうの？

「りく」だけど

ごちそうさま…っと
それにしても斉木さん
結構しゃべるんだね

ん〜別にしゃべるの
好きでもないんだけどね…
私たちが合うのかも♪

そうかきね

あ、卵焼きとっっても
おいしかったから
川田のお母さんに
おいしかったって
言っといてね

あく…あれ
僕が作ったんだよ

えっ!?
マジで…
すごいじゃん!

ん〜…そうだ!
ねえ、ちよっと
目瞑ってて

え、うん



十
ちゅっ♡



放課後は一緒に勉強して
二人で一緒に帰る……

二人の距離はどんどん縮まっていった……



お昼は一緒にご飯を食べて……

そして僕たちは恋人になり
より深く愛し合うようになった。

ゆかり…

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡



へへ…今ね
とっても幸せ♡

うん、ゆかりの手
から伝わってくるよ
ゆかり…愛してる

私も愛してるよ
…りく♡

二人だけの特別で
幸せな時間…。



じくも...
...
...

うーっす

...

この日は放課後僕以外のクラス全員が補習を受けていた。



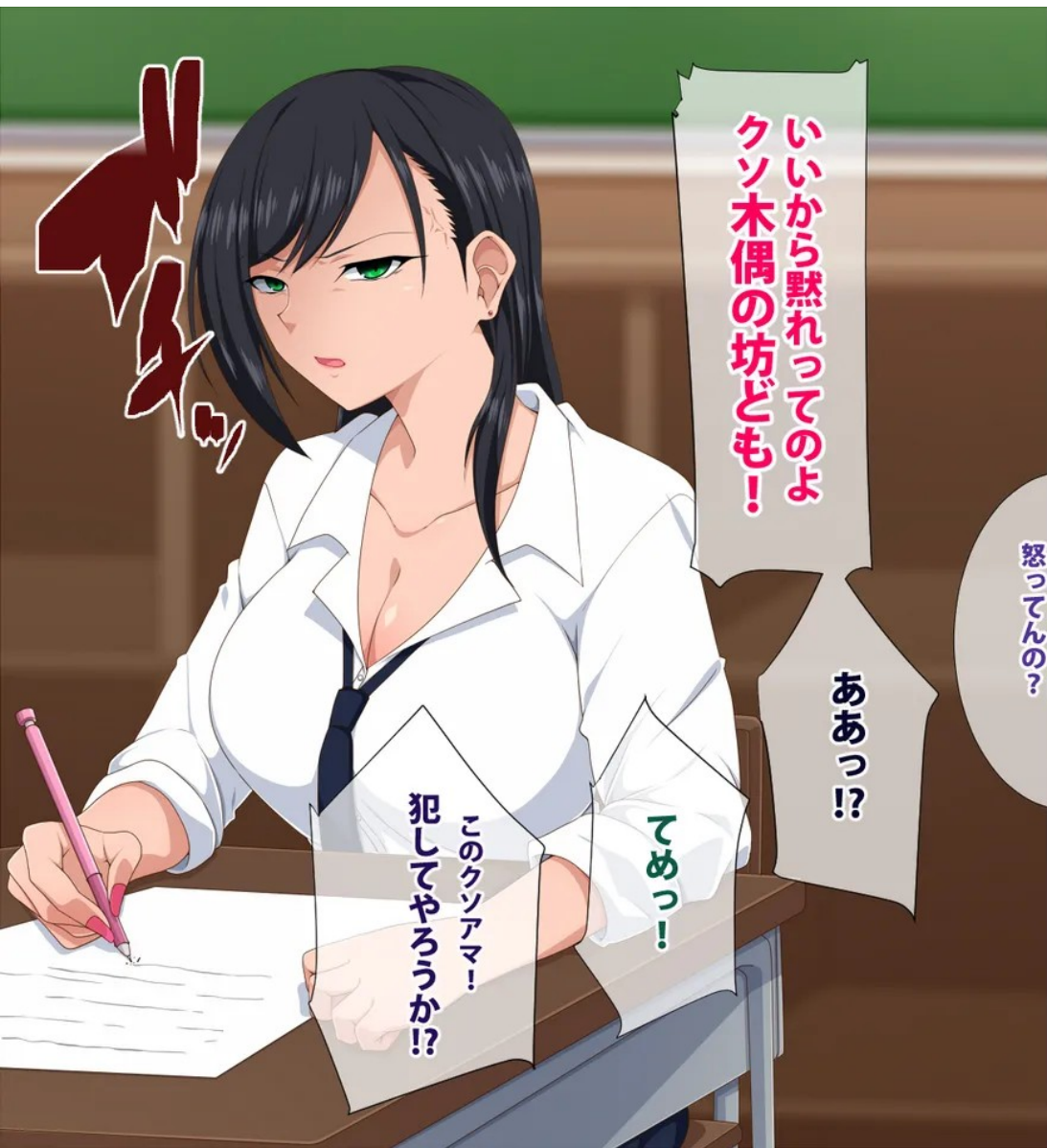
なあ、齊木・川田と
付き合ってるんだろ？

あんなつまんなそうな
ヤツと付き合ってる
楽しいのかあ？

先公も出てったし
補習さぼって俺たちと
遊びに行かねえか？

ホント、あいつより
俺たちの方が
お似合いだって…

……



いいから黙れってのよ
クソ木偶の坊ども！

ああっ!?

このクソアママ！
犯してやろうか!?

てめっ!!

てかさ、あいつと
セックスしたって
つまんねくだろ？

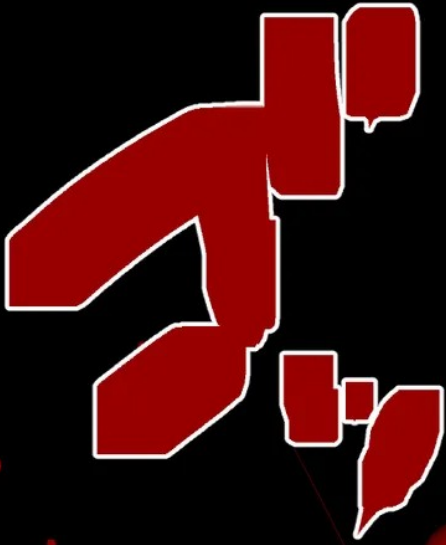
アソコもちっさそう
だしな〜ハハハ！

うっさいのよ…

あ〜？短小彼氏
馬鹿にされて
怒ってんの？

彼氏に不満で
イライラしてんだろ〜

欲求不満なら
俺たちのデカチンで
イカせてやろうか？



触んなつ！



そんなにやりたいなら
相手してやるわよ...

二度と出来ない
ようにね...

がっ...あっ!
ぐっ...ごほっ!
青木っ...てめっ!

おらーおらー
押さえるー!

いや...どう
何かヤバいって

目がマジ
じゃん...

ド
ズ



ふくん言うだけあって
デカいのはデカイじゃん

ゴムまで用意して…
マジで猿じゃない…
キモっ…汚いから使うけど

へっ…ハメて
後悔すんな…
ゴッ
ぐあっ!



はっ...入れただけで
果ててんじゃない
クソ木偶の坊ーさん

おっ...おい!!

がああっ!!

ほろっどーぎ...

どうした!?

あやめ...!

どろろ

どろろ



はあ...キモ

さっさと逃げ

ち、ちぎぎ...
食い千切られる
...ああっ!

やめろおおおっ!!

あーあーあー

ギギギ



次は……どいつ?



はあ...

ホント...口だけの
くだらない奴ばっか

が...あああ
も、もう...

ゆ、許してくれ...



チツ…
まだしゃべる
元気があんの？

逝けって！

めめめっ…！

がぐめめめっ…！

グッ

グッ

グッ

グッ



あつうっさいなああ...
もう終わってるわよ
クソ...セクハラ野郎

何やってるんだ!?
斉木...お前!

おいちやんと
やってるか...

な、なんだこりゃ!?

カラ...

カラ...

カラ...



あんた…教師のくせに
こいつらと一緒に…

いつもいつも
欲情したキモイ
目で見てきてさ…

さ、斉木…
こんな事して…
許されると…

クワッ
クワッ
クワッ



だからさあ...

キモイから
しゃべんな
つってんの!

ああっ!やめろ!

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ



あゝあゝ...
壊れちゃったかな

はあ

ったく...
どご行っても
こんな奴はつかし...

遅いなあ…

補習が終わるまで図書室で暇をつぶしている。
始まってから随分と経つけど、ゆかりはまだ来ない。
少し気にもなるので様子を見に行こう。

教室に着くとそこにはクラスの
野郎どもの山と、その傍らに
バツの悪そうな顔して
突っ立ってるゆかりの姿が……。



ゆかりにガン無視されて、
さらには僕と付き合い
だしたのでクラスの連中は
ゆかりに手を出さないと
思っていたんだけど……。
こうなってしまうか。

先生まで……



何やってたわけじゃないのに
妙に体が頑丈みたいで
恐ろしく喧嘩がつよい。
自分に害を及ぼす奴は誰であろうと
容赦なく食い干切って息の根止める。
まさに「狂犬」として荒れていた。

彼女は前の学校で「狂犬」と呼ばれていた。
見た目こそギャルっぽい不良グループに
属したりしていたわけではない。
むしろ一匹狼で集団には近寄らない。

転校を機に変わろうと
何があっても表に出さないよう
我慢していたみたいだ。



でも気の合う人間、心を開いた人間には
とつても人懐っこくなる。
最近僕と付き合いだして本当に穏やかに
なったと彼女の母親も驚いていた。

ちなみに転校理由は親の転勤。

最近二人っきりの時は
すっかり甘えん坊になる。
とつてもかわいい。

狂犬だったとはとても思えない。

喧嘩はしないと約束していたんだけど
僕の悪口に耐え切れなくなったみたいだ。
連中が僕を馬鹿にするのも、
彼女に手を出したのも、
僕が頼りないからだ…。



喧嘩しちゃダメだって
言ったじゃないか！

分かってる…僕が
頼りないから、
ゆかりに手を出されるし…
馬鹿にされるし…

だってあいつら
りくを馬鹿にして…

僕がもっと強くなるから！
ゆかりにはもっと自分を
大事にしてほしいんだよ！

りく…



りく…やっとならしくなったね

うん…♡

ゆかりは僕が守るよ

ゆかり…

ドキッ♡

ドキッ♡

ドキッ…

ドキッ…







はあ…はあ
りく…

ゆかり…
もう誰にも
手を出させない

はあ…

はあ…

んんん…♡

うん♡
こいつらに
見せつけよう…



あ...

さっきチューした時に♡

うん♡

じゃあゆっくり
ほぐしてあげるね

ん...♡

あ、ちょっと濡れてるね



あっ♡…それっ
ヤバイって…
イっちゃう♡

乳首もこんなに
ピンピンにして…

あん♡
だつてえ…
大好きなんだもん♡

あ♡

あん♡

ホントに甘えんぼだね
臍肉が指にぎゅって
抱きついてくるよ？

♡
♡
♡
♡
♡
♡
♡
♡
♡
♡



ららら、いっちゃんお

はっ♡

はっ♡

はうっ♡
あっ！だめ…♡

ビク

いっちゃん…
ああんっ♡

んっ♡

ビク



だからね...りくの
欲しくなっちゃった♡

はあ...♡

はあ...♡

いっぱいお潮
噴いちゃったね...
気持ちよかった？

うん♡

んん

んん♡
さっ



いつからこんなに
おっきくしてたの？

さっきキス
した時から

うふふ…
私と同じだ♡

ねえ、ゆかり…
やっぱり僕のって…

む…

おっ…
キス…



私の彼氏なんだから
自信持ってよ♥
さっき自分で
言ってたじゃん

私はりくのじゃないと
絶対いやなの…♥

ちゅ♥

そうだね…
お願い

うん♥
任せて!



あっ!!ゆかり
激し...いっ!!

んふふ♡
我慢しないで
イっちゃって♡

んっ...りくの好き♡
もう可愛くて...本当に
愛おしくて...大好き♡

んっ...♡
我慢汁いっぱい
出てる...ふふ♡
りくのおいち♡

ぐっ♡

ぬほっ♡

ぬほっ♡

ぬほっ♡

んっ♡

ぬほっ♡



ああっ！もっっ…
だめ…っ！

んっ…♡

いっしょ♡喉の奥…
いっしょ出して♡

ふっ…♡

んっ…♡
んっ…♡
んっ…♡

あっ！ああっ！
ゆかり…っ！

りんっ♡
りくっ…♡



ゆかり...っ!
残さず...っ!
もっとお...!!

んっ...っ
分かってる♡♡

りくのいっばい
ゴクゴクさせて...♡



んは〜…っ♡
おいしかったあ♡

ふふっ♡やっぱり
りくの元気だね♪
早くしたい〜♡

はあ…♡

はあ…♡

はあ…♡

おじいちゃんさ

うん♡



あ♡

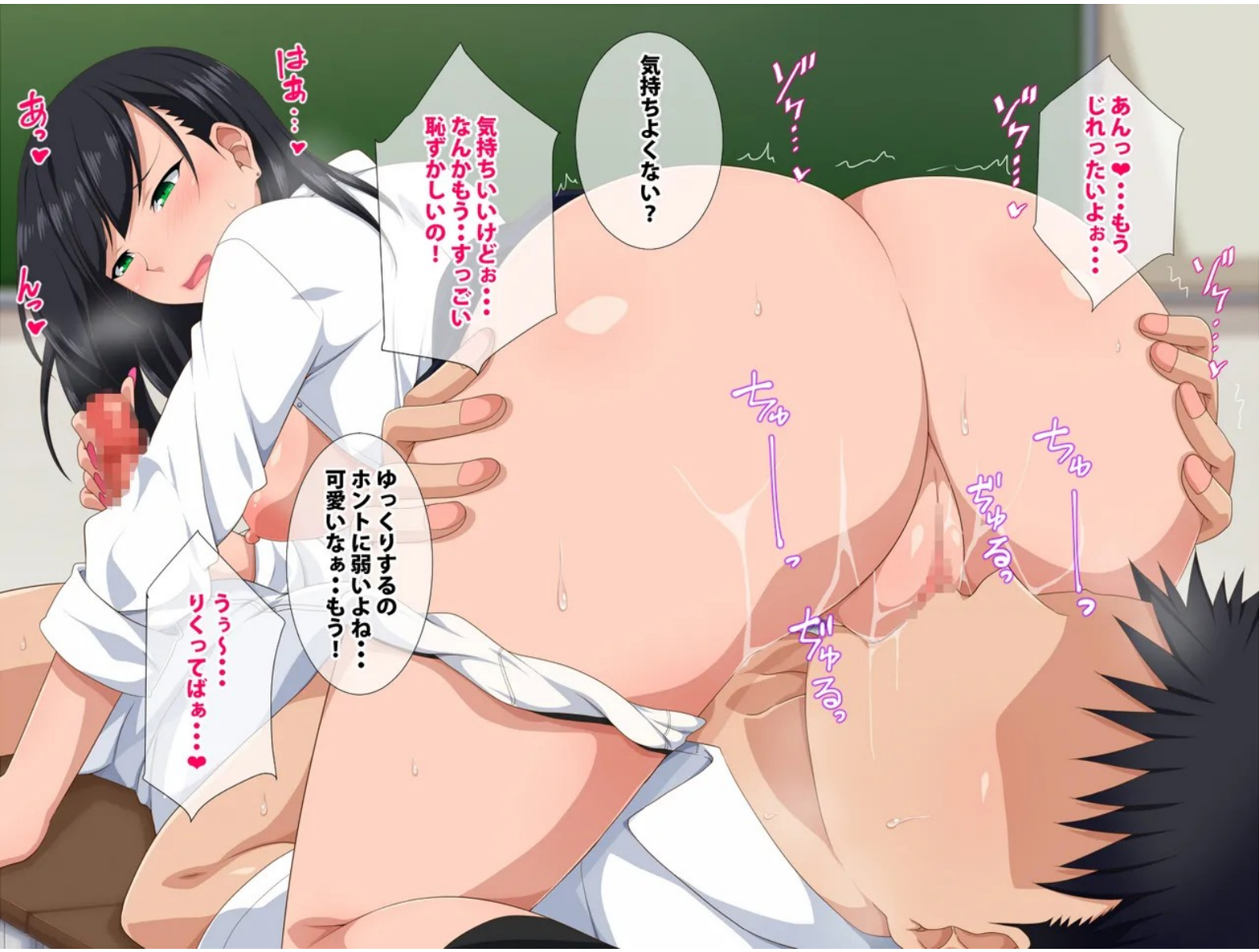
今日はゆかり
飛ばしすぎだから
もうちょっと
ゆっくりしよ

ねえええ…
早く入れたいよ

んっ
…んっ

ちゅ
ちゅ

ちゅ
ちゅ



あんっ♡…もう
じれったいよお…

気持ちよくない？

気持ちいいけどお…
なんかもう…すっごい
恥ずかしいの！

ゆっくりするの
ホントに弱いよね…
可愛いなあ…もう！

うっっ…
りくってばあ…♡

はあ…♡

あっ♡

んっ♡

ちゅ

ちゅ

ちゅるる

ちゅるる

ゾク…

ゾク…

ゾク…



んひゃっ♡

あっ♡んあっ♡
あぁあっ♡

んひゃっ♡
りくうっ♡

ゆかりっ♡
んじっ♡

んひゃっ♡

ド

ん

んひゃっ♡

んひゃっ♡



うう...もう...もう無理だからあ...りくう...おねがい... エッチしよ...しよっ...ねえ...りくう...

うああ...すごい 大洪水だよ...ゆかり

ごめんごめん じゃあ、やろっか

は...は...

アル

アル

トロ...

トロ...



へへ…まずは
私の上ね♥

いっぱい焦らし
ちゃったからね…

覚悟してよらねん

おおぅ…
ほんとこいだ！

んっ♡
んっ♡
んっ♡
んっ♡



だつて…妻なの
入れちゃったから…
りくのいっばい欲しいの♡

あ…♡

あ…♡

んっ…ああ♡
りくっ…♡

うおっ…ゆかり
今日すげえわ…キツ！

ぬ…♡
あ…♡
あ…♡

りくっ♡りくっ♡
りくっ♡りくっ♡
大好き♡大好きだよ♡

あっ♡

あまん♡

ゆかりっ!
ホンっと…
激しっ…!!

あんっ♡

りくが焦らすのがいけないの♡
今日はりくといっぱいするんだから♡

そ、そうだけど…!!

今日のゆかりはいつもに
増して甘えん坊モードだ。
可愛いけど、恐ろしく激しい。





ああっ！ゆかり！
もっ…っ！

りくっ…私も…
イツチャウ…
一緒に…一緒にイッっ

ああっ！
ゆかりっ！

りくっ…ああっ…
熱いの…ふめめめっ

あっ

んああっ

あん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん



へへ…次は
りくの番ね♥

は
っ

は
っ

んっ…ああっ♥
りくの溢れてきた♥
いっぱい出たね…っふふ♥

りくの温もり…
っっっっっ
っっっっっ
っっっっっ

ドクドク…っ

ドクドク…っ

っっっ
っっっ
っっっ
っっっ
っっっ



ゆかりに負けてらんないからね!

ゆかりーゆかりっ!

あぁんっ♡激しっ♡りくう♡...すごじっ♡

あぁ

あぁんっ

あぁんっ

下っ

下っ

下っ

下っ



あぁ♡
あぁ♡

はぁん♡

ああん♡りくう♡
すごいっ♡
…腰砕けちゃう♡

こっぴど…こっぴど
たけろ…こっぴど
こっぴど…こっぴど

はっ…あぁっ…
もっともっとゆかりの事
気持ちよくさせてあげるよ…

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ



ああああ
イキイキイキ

イキイキイキ

ゆかりっ!
イクよ!
くううっ!

うんっ♡
りくっ♡
りくっ♡
りくっ♡
りくっ♡

イキイキイキ
イキイキイキ
イキイキイキ



はあ……はあ……
やっぱ……♡
……あつ

はあ……はあ……
大丈夫？

お漏らし……
しちゃった♡

あらら……
そんなに気持ち
よかったんだね

……うん♡

あ……♡

ほ……♡

ゴク……♡

ア……♡

ゴク……♡

ア……♡

ゴク……♡

ゴク……♡

えへへ……♡
りく今日すごいね
いっぱいしても
全然萎えない……
元気なまんま♡

あいつらこんなに
出したら死んじゃうよ？

まあ実際瀕死に
なってるけど……

んあ……♡

だからりくはあんな
連中と比べるまでもなく
男らしくて立派だよ♡

あ……♡♡

ありがとう……
体力ついたのも
ゆかりのお陰だよ

いつも私が
いっぱい
甘えちゃって
からね……♡





あうっ♡
りく! 飛んだ♡
すごい勢い♡

あ...♡

あ...♡

あっ...そんな
ことしたら
また...うっ!



今日二人ともバイね♥

ホント…すげいよ
燃え上がっちゃって…
もう止まりそうにないね

うん…うん…
もっともっとなんぞん
燃え上がっちゃうわ♥

ちゅ
ぐわ
ちゅ
ぐわ
ちゅ
ぐわ

ちゅ♥

ぐわ

ちゅ
ぐわ
ちゅ
ぐわ



ゆかり!
離さないから!
絶対!

うん...ずっと...
ずっと一緒...
いつまでも...

りくっ
りくっ...
あー

うん...ずっと...
ずっと一緒...
いつまでも...

さっきは二人で冗談めかしていたけど
本当に止まることを知らず、どんどんと
愛が燃え上がっていった...

教室でやっている事も
傍らにクラスの連中が倒れていることも
時間さえも忘れて
二人だけの世界に没入して愛し合った。



はっ!はあ!
ゆかり!ゆかりっ!

あん♡

リン好き♡
大好き♡

なあん♡

リン♡
リン♡

リくっ♡リく...
リくリくリくう♡

イキたい...!
一緒に♡あああんっ♡
イこう...♡リく♡

ああ!イこう!
一緒に!

僕にぎゅっと
抱きついてくる
甘えん坊な彼女。

僕だけに見せる
蕩けきった顔...

僕の大切な人。

ズン♡
ズン♡
ズン♡
ズン♡
ズン♡
ズン♡
ズン♡
ズン♡

ぽちゅ♡
ぽちゅ♡
ぽちゅ♡

ぽちゅ♡
ぽちゅ♡

ズン♡
ズン♡



彼女の絶頂。

うららしくから……

う……うへ

ああ

んんん
んんん

ゆかりっ！

僕だけが知っている……

うらら

うらら

うらら



は!...はあ!
ゆかり!...

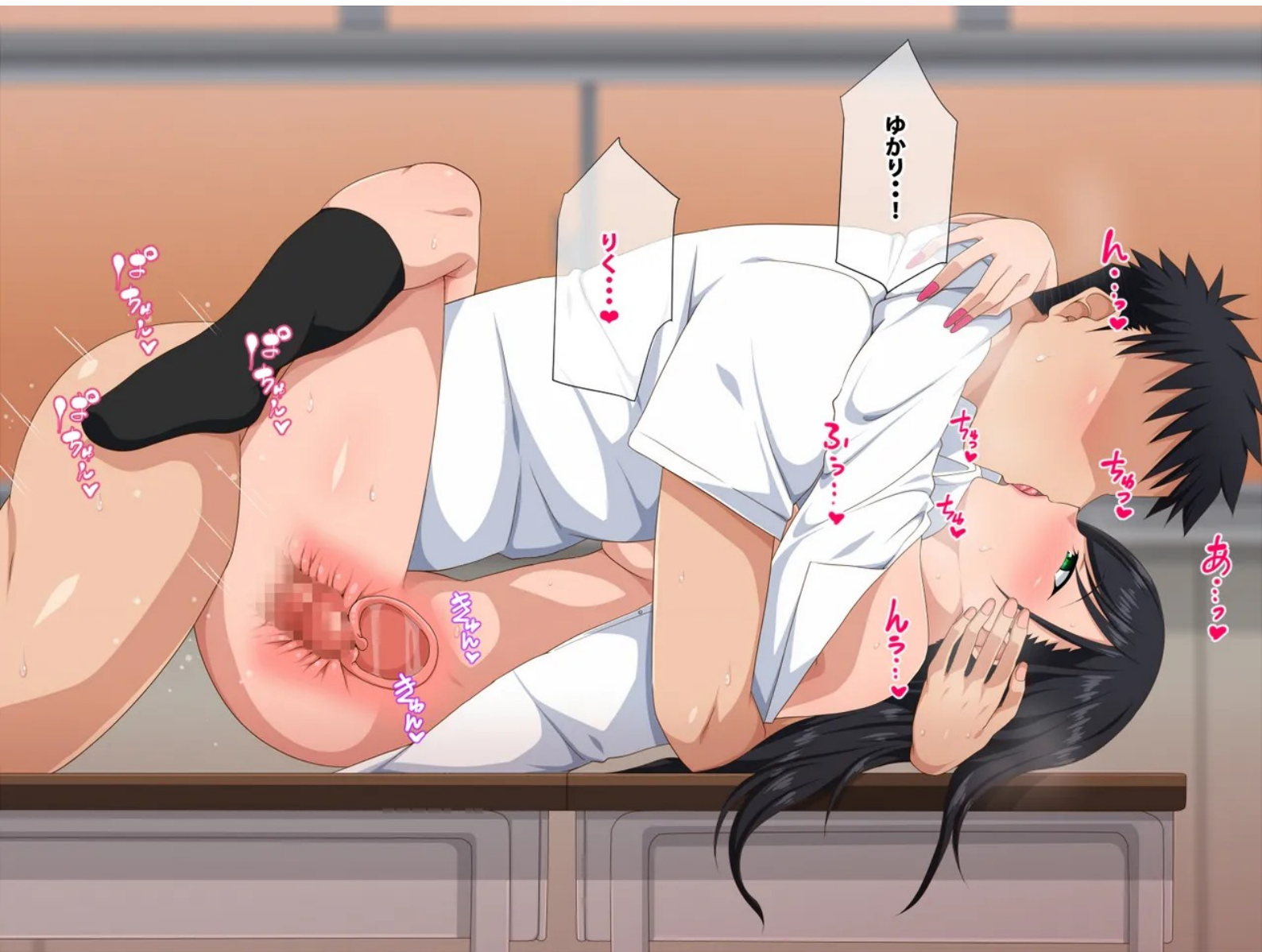
はっ!...はっ!
はっ!...

はっ!...はあ!...

はっ!...はっ!
はっ!...はっ!
はっ!...はっ!
はっ!...はっ!
はっ!...はっ!
はっ!...はっ!

気持ちよすぎて
二人とも
頭が真っ白に...

はっ!...♡



ゆかり…!

ふ…

ん…♡♡

ちゅ♡

あ…♡♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ん…♡

ふ…♡

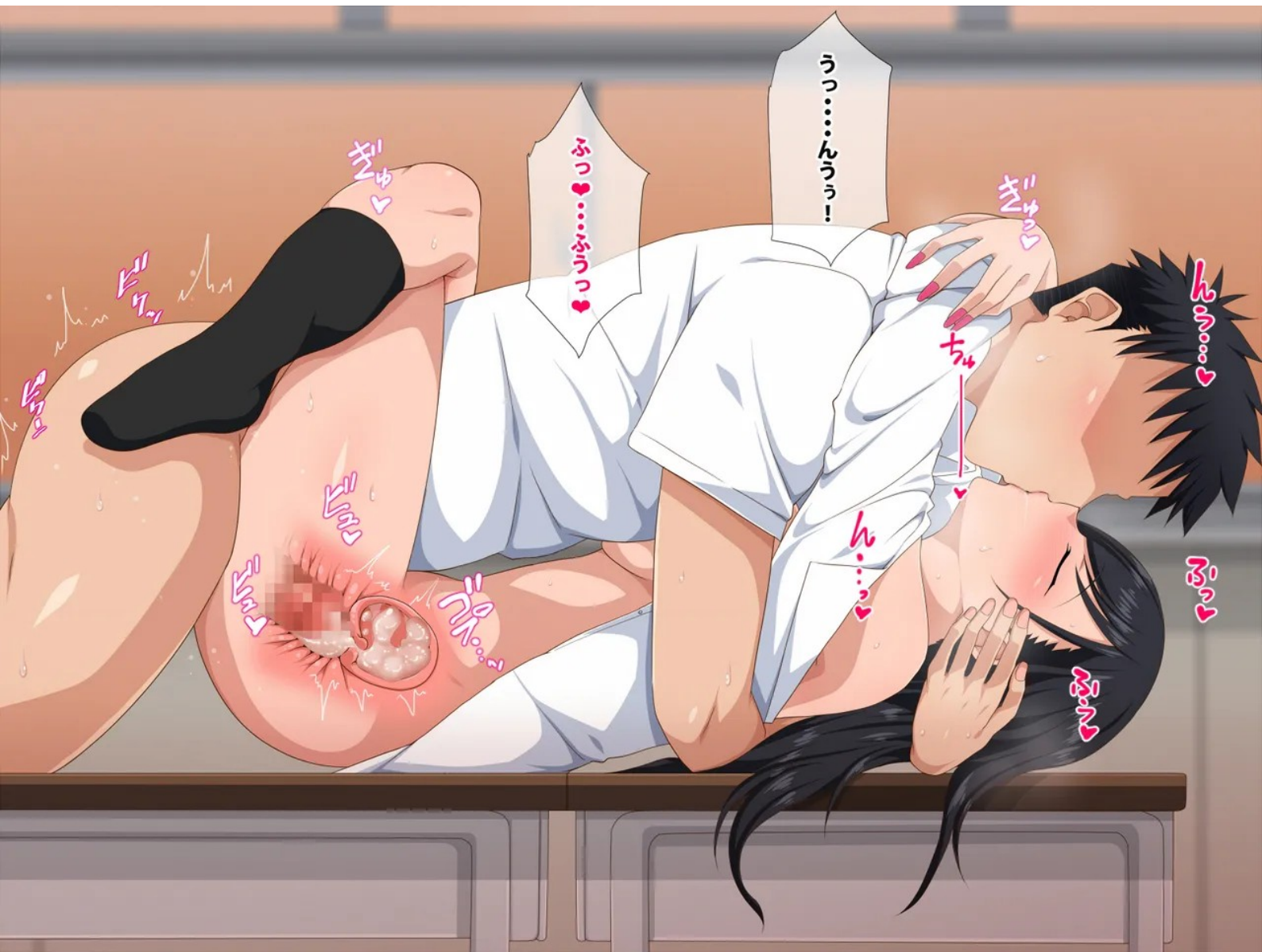
ん…♡

ん…♡

ん…♡

ん…♡

ん…♡



うっ……んっうっ……!

♡♡♡……んっ……♡♡♡

きゅん♡♡

ん……♡♡♡

んっ♡♡

んっ♡♡

ん……♡♡

ちゅ♡♡

んっ♡♡

んっ♡♡

んっ♡♡

んっ♡♡

んっ♡♡
んっ♡♡
んっ♡♡
んっ♡♡

夕焼け…きれい

あぁ…もう
こんな時間か

家帰って
続きしよ♡

はいはい…
コレ、どうにか
しなうと…

あ…
忘れてた

とりあえず
教室は掃除
しておいた。

翌日……教室に行ってみると
誰も来ていなかった。

クラスの野郎たちは自分たちの
自慢のモノがゆかりに全く通じず
加えて腕っぷしでも負けてしまった。
さらには彼女に精根ホロボロにされ
自信喪失してしまったようだ……。
先生含め全員が再起不能になり消えていた……。

こうしてこのクラスは
僕たち二人だけになった……。



二人ではクラスとして機能しないので
僕たちは別のクラスに編入となった。
新しいクラスメイトとも仲良くなって
今は平和に過ごしている。

ねえ、テスト終わったら
どっか遊びに行こ♥

いいけど…勉強せずに
エッチしていいの？

りくもさ勉強ばっかで
溜まってると思って♥

うれしいけど…
止まなくなっ
ちやわない？

大丈夫♥
一回だけだから…

あん♥

ちゅ♥

ぬい♥

ぬい♥





私もいつちゃ……♡♡♡

はっ♡♡♡

あっ……ゆかり
イクっ……っ!

お……♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

ふう…イっちゃたし
勉強しようか

うう…
もっとしたい♡

我慢できない？

できないの♡

もう…
しょうがないな

やった！
りく大好き♡

結局勉強できませんでした♡



















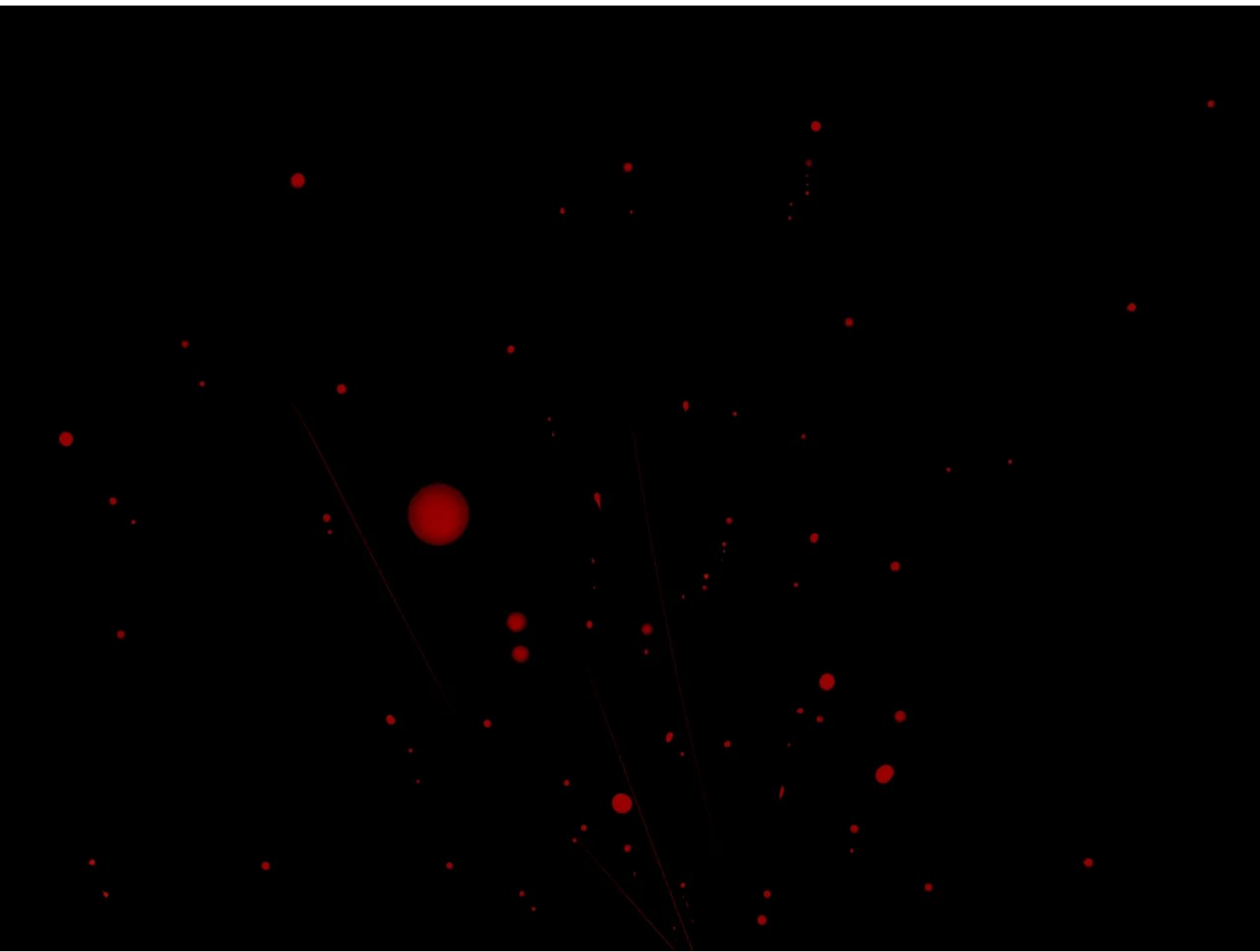












































































































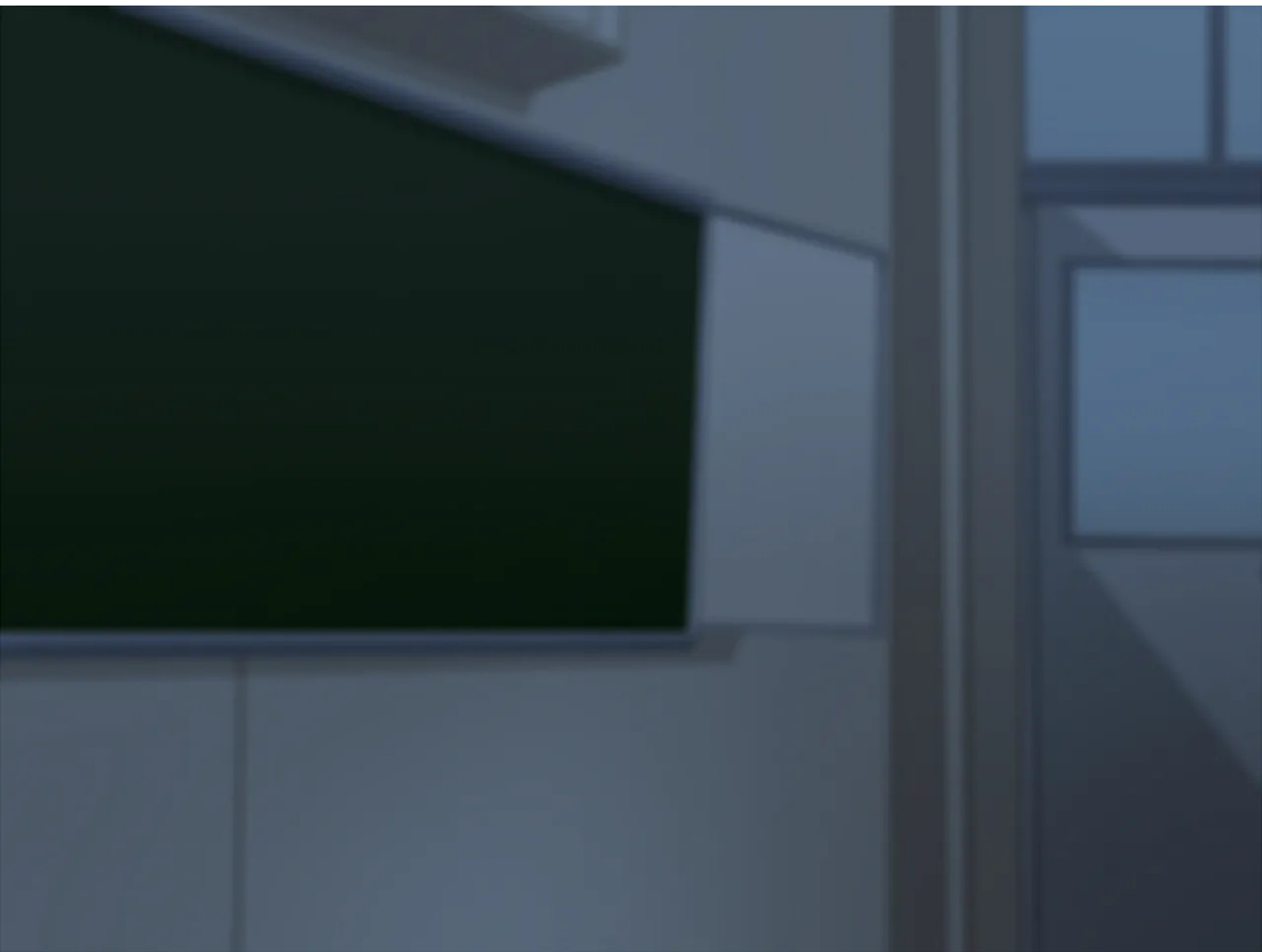




















**この度はサークル「きつね屋根」の作品を
ご購入いただきありがとうございます。**

この作品はフィクションです。

この作品でお楽しみいただければ幸いです。

今後とも当サークルの作品をよろしくお願いたします。

**制作：サークル「きつね屋根」
2018年1月**

